



AICHI
SCIENCE
FESTIVAL
2014

あいちサイエンスフェスティバル 2014 実施報告書

市民向け講演会
「先端科学技術と社会」

SAKAE
ScienceTalk



愛知県を中心に、
サイエンスイベントが
大集合!

会社帰りに
サイエンス!

子ども向け
イベントも
あるよ!

あいち サイエンス フェスティバル 2014



9/27(土)
~11/3(祝)

サイエンスを議論し
交流しよう!!

目次

1. はじめに	2
1-1. あいちサイエンスフェスティバルとは.....	2
1-2. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携.....	2
1-3. あいちサイエンスフェスティバル 2014 実行委員会.....	3
2. あいちサイエンスフェスティバル 2014 報告	4
2-1. 全体総括.....	4
2-2. 名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局企画.....	9
2-2-1. 市民向け講演会「先端科学技術と社会」.....	9
2-2-2. さかえサイエンストーク.....	14
2-2-3. サイエンスカフェと工作「エコで、『くつつく』サイエンス」.....	20
2-3. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関の主催企画.....	21
2-3-1. 単発イベント（開催期間 2 日間まで）.....	21
2-3-2. 長期イベント（開催期間 3 日間以上）.....	26
2-4. 一般参加機関の主催企画.....	28
3. おわりに	29

1. はじめに

1-1. あいちサイエンスフェスティバルとは

あいちサイエンスフェスティバルは、愛知県全域で開催する地域科学祭です。ひろく愛知県内で、サイエンスへの興味と関心を喚起し、人々の交流と議論の場を生み出すことを目的に実施しています。10月を丸ごと含む5週間を会期として、会期中は愛知県のどこかで毎日、サイエンスイベントを開催しています。

2011～2013年度までは、独立行政法人科学技術振興機構（JST）より科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」の支援を受け、名古屋大学が主催し、愛知県内の大学・研究所・博物館等による「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の連携活動として実施しました。

2014年度は、名古屋大学の独自予算により、従来どおり、名古屋大学主催、「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の連携活動として運営しました。

1-2. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携

2011年度、JSTからの事業支援を受け、愛知県内でサイエンス・コミュニケーションをおこなう大学・研究所・博物館・科学館等が連携し、「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」を形成しました。当初11機関からスタートし、2012年度には4機関、2013年度には3機関が、新たにネットワークに参加しました。2014年度は、1機関がネットワークを離れましたが、新たに3機関が加わり、2014年11月現在、20機関が参加しています。尚、JSTによる助成が終了した2014年度からは、愛知県外機関の参加も可能となり、岐阜県と三重県の機関が加わりました。

● あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関

名古屋大学、愛知県、豊橋技術科学大学、名古屋市立大学、名古屋市科学館、名古屋市東山総合公園（東山動植物園）、蒲郡市生命の海科学館、豊橋市自然史博物館、日本モンキーセンター、トヨタ産業技術記念館、名古屋造形大学、宇宙航空研究開発機構名古屋空港飛行研究拠点、愛知工科大学、自然科学研究機構基礎生物学研究所、名古屋文理大学、三井住友銀行 SMBC パーク栄、愛知こどもの国、名古屋市鶴舞中央図書館、三重県総合博物館、大垣市文化事業団

ネットワークでは、あいちサイエンスフェスティバルを象徴イベントとしながら、年間を通じて、講師派遣やコンテンツ交流等の連携活動をおこなっています。また、ネットワーク機関のサイエンスイベントを集約して情報提供するホームページを毎年運用し、サイエンスイベント情報を掲載したメールマガジンを、毎週読者に送信しています。さらに、フェイスブックとツイッターによるイベント情報発信もおこなっています。

- HP <http://aichi-science.jp>
- ツイッター <https://twitter.com/AichiScienceFes>
- フェイスブック <https://www.facebook.com/AichiScienceFestival2014>

1-3. あいちサイエンスフェスティバル 2014 実行委員会

あいちサイエンスフェスティバル 2014 は、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加各機関から選出された実行委員と事務局からなる実行委員会によって運営されました。

● あいちサイエンスフェスティバル 2014 実行委員会名簿 (2015年2月現在)

参加機関名	実行委員の所属・役職等	実行委員の氏名
名古屋大学 (事務局)	学術研究・産学官連携推進本部長 同本部 地域連携・情報発信グループ 特任教授／グループリーダー URA (事務局担当) URA *URA:リサーチアドミニストレーター URA 研究員 事務補佐員	松尾清一 虎澤研示 成玖美 戸次真一郎 大住克史 梅村綾子 宇治原妃美子
愛知県	産業労働部産業科学技術課 主事	中谷春香
豊橋技術科学大学	環境・生命工学系 准教授	後藤尚弘
名古屋市立大学	看護学研究科 教授	明石恵子
名古屋市科学館	学芸課学芸係 主任学芸員	尾坂知江子
名古屋市東山総合公園	東山動物園 管理課管理係 東山植物園 指導園芸係長	種田顕 和泉涼子
蒲郡市生命の海科学館	学芸員	山中敦子
豊橋市自然史博物館	学芸専門員	長谷川道明
日本モンキーセンター	学術部研究教育室 室長	高野智
トヨタ産業技術記念館	学芸企画・広報グループ グループリーダー	木村雅人
名古屋造形大学	イラストレーションデザインコース 専任講師	足立ゆうじ
宇宙航空研究開発機構 名古屋空港飛行研究拠点	名古屋大学ナショナルコンポジットセンター長	石川隆司
愛知工科大学	工学部情報メディア学科 准教授	杉森順子
自然科学研究機構 基礎生物学研究所	広報室 特任助教	倉田智子
名古屋文理大学	情報メディア学部 助教	佐原理
三井住友銀行 SMBC パーク栄	イベント担当	松井成之
愛知こどもの国	副所長	鈴木貴久
名古屋市鶴舞中央図書館	奉仕課 司書	太田幸子
三重県総合博物館	経営企画課 課長代理・主幹	山崎章弘
大垣市文化事業団	事業課科学展示係 課長補佐兼係長	早野巖

● 2014年度 実行委員会開催日

第1回 2014年5月26日(月) 16:00~17:00

於:名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー ミーティングルーム

第2回 2015年3月3日(火) 15:30~17:00(予定)

於:名古屋大学野依記念学術交流館 会議室

2. あいちサイエンスフェスティバル 2014 報告

2-1. 全体総括

あいちサイエンスフェスティバル 2014 は、以下のとおり開催されました。

- 会期：2014年9月27日（土）～11月3日（祝）、およびプレ企画／ポスト企画開催日
- 主催：国立大学法人名古屋大学
- 共催：愛知県、蒲郡市
- 後援：中京テレビ放送、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、蒲郡市教育委員会、豊橋市教育委員会、(独)科学技術振興機構、全国科学博物館協議会、(独)製品評価技術基盤機構

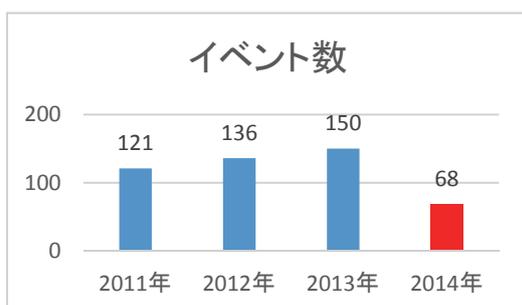
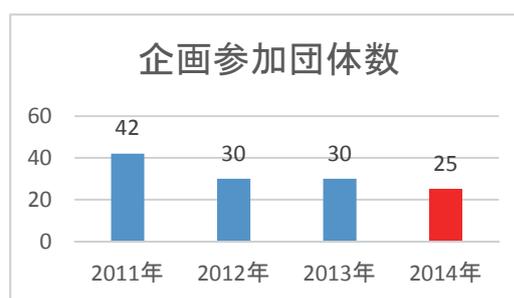
あいちサイエンスフェスティバル 2014 に参加いただいた、参加者／企画参加団体／イベント数は、以下のとおりです。

- 参加者総数：**113,525人**（集計不能イベントを除く）
うち、単発（開催期間2日間以内）イベント：10,011人
長期（開催期間3日間以上）イベント：103,514人
- 企画参加団体数：**25**（会場提供、および機関を通じた講師派遣を含む）
- イベント数：**68**

*参考までに、4年間の推移をグラフ表示します。ただし、2011～2013年度と2014年度は、**集計期間が異なるため、単純比較できません。**

・**2011～2013年度：1年間の合計**

・**2014年度：フェスティバル期間および前後(プレ／ポスト企画分)のみを集計**



*長期イベントへの来場者が多かったため、例年と比べ、イベント数が少ないにもかかわらず、参加者数が過去最高という結果になりました。

● マスコミ等による、主な広報実績：

日	媒体	内容
7月23日(水)		「名古屋大学 教育記者会との定例懇談会」にて概要発表
7月26日(土)	読売新聞	「名大が科学祭 トークや講演」記事掲載
9月7日(日)	東海ラジオ放送	「名古屋大学ラジオ放送公開講座」内、CM 放送
9月20日(土)	CBC ラジオ放送	「土曜ワイド 広瀬隆のラジオでいこう」内、「ラヴなご」コーナー生出演
10月1日(水)～	イオン中部各店	ポスター掲示（調整：愛知県産業労働部）
10月5日(日)	新聞各紙	「広報あいち」にて紹介 (調整：愛知県産業労働部)
10月30日(木)	中京テレビ放送	「キャッチ！」にて紹介

● 広報用ポスターとポケットガイド：

あいちサイエンスフェスティバル 2014 の広報用ポスターとポケットガイドを、次ページ以下に掲載します。
デザインは、松場宏忠氏（MTB DESIGN）が担当しました。

p.6：ポスター

p.7：ポケットガイド（表面）

p.8：ポケットガイド（裏面）



あいちサイエンスフェスティバル 2014

9/27(土) ~ 11/3(祝)
サイエンスを議論し
交流しよう!!

愛知県を中心に、
サイエンスイベントが
大集合!

**市民向け講演会
「先端科学技術と社会」**

子ども向け
イベントも
あるよ!

詳しくは、
WEBで!!
<https://aichi-science.jp>
あいちサイエンスフェスティバルHPで随時情報更新しています!
あいちさいえんす 検索
Twitter、Facebookからも
情報発信中!!

9/27 (土)
14:00 ~ 16:00
ESDと国際社会
=ESD世界会合の成功に向けて


竹本和彦
国立大学サステイナビリティ推進部長

会社帰りに
サイエンス!

10/4 (土)
14:00 ~ 16:00
丸ごと地球をとっておこう
=めぐる、つづく、一緒に


百瀬則子
ユニグループ・ホールディングス株式会社
執行役員 / グループ環境社会貢献部長

10/19 (日)
14:00 ~ 16:00
iPS細胞による網膜再生
=再生医療研究の最先端


高橋政代
理化学研究所神経再生医療研究センター
プロジェクトリーダー

10/25 (土)
14:00 ~ 16:00
生命の時を刻むタシバク質
=生物はどのように時間を感ずるか


近藤孝男
名古屋大学大学院理学部生命科学科教授

SAKAE Science Talk
市民と専門家との対話イベント
時間: 18:30 ~ 20:00 (入場 18:00 ~)
定員: 各回とも先着30名程度
*事前申込不要

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/29 森田 宏 がん、古から未来へ =癌に罹患しない為に	9/30 山田厚志 自動と共働を創る参加型 市民工場のスズメ「3ストロ ニエ」で作る体験する防災「減災 のツツ	10/1 谷村省吾 光子の選択 =ミクロの世界の不思議	10/2 坂本裕俊 「あな、かあたらん入りたい」 =分子細胞の魅力	10/3 長田 敏 製品事故の原因を探るサイ エンス「家電」サイエンス 事故から最新情報まで
10/6 松岡敬二 ジオパークって何だろう? =三河のジオサイエンス	10/7 鈴木和博 モノが語る歴史を読み解く =年代測定による由緒深い サイエンス	10/8 平川一臣 過去の超巨大津波の謎解 =津波増幅を探る	10/9 仲井 豊 石が語る日本列島の土台	10/10 中川良平 化石から読み解く(日本列島の 増幅増強の経緯) =ミエリからトランスミエリ
10/13 高田広章 コンピュータ化する自動車 の今とこれから	10/14 武田一哉 昔の不思議の科学 =知っているようで 知らない世界へようこそ	10/15 新井史人 未来を拓くロボット技術	10/16 葛谷雅文 健康長寿のひけつ =栄養とプレイルを中心に	10/17 堀 勝 プラスマ 「がん」を治すはなし
10/20 下村吉治 ダイエットの科学 =アミノ酸と運動の活用法	10/21 堀田美佳 「自己風力」産産神経細胞研究 の異分野への応用	10/22 鈴木海花 われら虫愛する姫君の 未来たち	10/23 横山弥生 数理が生み出す「かたち」 =アニ =美の規則性を見つめよう	10/24 加藤恵子 骨の髄 =あなたの骨は大丈夫?
10/27 伊藤恭彦 さもしい入浴 エシカルな 正義をささぐ言葉の徳	10/28 伊藤加奈子 女性のエシカル医療	10/29 河口真理子 エシカルライフのススメ	10/30 萩原 彰 科学技術の未来と教育 =なつかしい未来は ありうるのか	10/31 原田さとみ 地球とのフェアトレード =エシカルな暮らしを目指して

* 10/13 はジユク堂書店、10/22 と 10/29 は Café&Bar Perms (パームス) で開催します。

あいちサイエンスコミュニケーションネットワーク連携機関

 名古屋大学

 愛知県

 名古屋工業大学

 名古屋商科大学

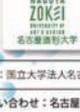
 名古屋市科学館

 愛知科学博物館

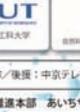
 愛知科学センター

 愛知科学センター

 トヨタ産業技術記念館

 名古屋科学技術大学

 愛知教育大学

 愛知教育大学

 愛知教育大学

 愛知教育大学

 愛知教育大学

 愛知教育大学

 愛知教育大学

 愛知教育大学

主催：国立大学法人名古屋大学 / 共催：愛知県、名古屋市 / 後援：中京テレビ、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋府教育委員会、名古屋市教育委員会、豊橋市教育委員会、(社)科学技術振興機構、全国科学博物館協議会、(株)製品研技術基盤機構
お問い合わせ：名古屋大学 学術研究・産学連携推進本部 あいちサイエンスフェスティバル事務局 電話：052-747-6527 E-mail: asf@aip.nagoya-u.ac.jp



あいちサイエンスフェスティバル 2014

<https://aichi-science.jp/>

あいちサイエンスフェスティバルHPで随時情報更新していきます!

ホームページは [あいちサイエンス](#)

あいちサイエンスフェスティバル2014 連携機関

名古屋大学	愛知県	愛知医科大学	名古屋工業大学
名古屋大学	愛知県	愛知医科大学	名古屋工業大学
名古屋大学	愛知県	愛知医科大学	名古屋工業大学
名古屋大学	愛知県	愛知医科大学	名古屋工業大学

主催：国立大学法人名古屋大学
 共催：愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
 愛知県教育委員会、愛知県教育委員会、(独)科学技術振興機構、
 全国科学博物館協議会、(独)製品評価技術基盤機構

お問い合わせ：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
 あいちサイエンスフェスティバル事務局
 電話 052-747-6527 asf@aip.nagoya-u.ac.jp

市民向け講演会「先端科学技術と社会」

ウェブサイト事前申し込み制 各イベントのURLから事前に申し込んでください

9月27日(土) 14:00~16:00 (開場 13:00) **三井住友銀行 SMBC パーク 栄**

ESD と国際社会
 —ESD 世界会合の成功に向けて
 竹本和彦 (愛知大学マテリアル・エレクトロニクス工学部教授)

ESD 世界会合に向けた国際社会の取り組みを紹介するとともに、国連大学における持続可能な社会実現に向けた研究活動を踏まえ、国際社会の将来像を考察する。
<https://aichi-science.jp/1798>

10月4日(土) 14:00~16:00 (開場 13:00) **三井住友銀行 SMBC パーク 栄**

丸ごと地球をとっておこー
 —めぐる、つづく、一緒に
 百瀬則子 (アール・ホールディングス株式会社社員)

地球に根ざした環境・社会貢献に取り組む、ユニークな会社。店舗全体でESDに取り組む。他者との結びつきを重視したESDを推進する。先駆的な取り組みを紹介する。
<https://aichi-science.jp/1800>

10月19日(日) 14:00~16:00 (開場 13:00) **名古屋大学 ES ホール**

iPS 細胞による網膜再生
 —再生医療研究の最先端
 高橋政代 (理化学研究所 再生医療研究プロジェクトリーダー)

いま最も注目される研究者のひとり、iPS 細胞を使った「加齢黄斑変性」治療に向けた臨床研究の、現状を語る。
<https://aichi-science.jp/1802>

10月25日(土) 14:00~16:00 (開場 13:00) **三井住友銀行 SMBC パーク 栄**

生命の時を刻むタンパク質
 —生物はどのように時間を感知するか
 近藤孝男 (名古屋大学大学院工学部教授)

タンパク質が「時計」として機能することを証明し、化学・物理学研究にも大きなヒントを与えた生物時計研究。2014 年度日本学士院賞を受賞した研究の過程と結果を紹介する。
<https://aichi-science.jp/1804>

三井住友銀行 SMBC パーク 栄 地下鉄東山線・名城線(栄)駅9番出口すぐ(三越北)
 名古屋大学 ES ホール 地下鉄名城線「名古屋大学」駅2番出口から徒歩1分

おすすめの子どもの向けイベント!

「子どもだって、サイエンス!!!」

10月4日(土)・5日(日) 9:30~17:00
青少年のための科学の祭典2014・名古屋大会
 展覧会だけでなく、工作や科学の原理を取り入れたショーを通して、科学のおもしろさを体験しよう!

対象：幼児(親子連れ)~一般
 会場：名古屋市科学館、てんごの科学館

六本事務局(名古屋科学館)
 電話 052-201-4486

10月17日(金) 10:00~12:00
子どもも大人も楽しめる~身近な草観察会
 身近な植物について、植物園のガイドボランティアさんやさしく解説!

対象：幼児(親子連れ)~一般
 会場：名古屋市山崎動物園
 電話 052-782-2111

10月19日(日) 10:30~15:30
学習教室「スヌメリの果を解体してみよう」
 新鮮なスヌメリの果を解剖して、果の構造を学びます。またスヌメリを使った理科のミニ実験も体験できます。

対象：小学生~一般
 (小学校教員は別途参加費あり)
 会場：豊橋市自然史博物館
 事前申し込み制
 豊橋市自然史博物館
 電話 0532-41-4747

10月18日(祝)
 午前部：11:00~12:30
 午後部：14:00~15:30
JAXAコスミック・カレッジ
フアンタメンタル★コース

宇宙をテーマにした楽しくチャレンジして、科学の面白さを体験しよう!

対象：小3~中学生
 会場：豊橋市生命の海科学館
 事前申し込み制
 豊橋市生命の海科学館 (JAXAコスミック)
 電話 0533-66-4717

10月18日(土) 10:00~18:00
10月19日(日) 10:00~15:00
Jr.サイエンス講座
 ロボット操作体験、電子工作、植物園、光の実験などが楽しめます!

対象：幼児(親子連れ)~中学生
 会場：豊橋市生涯学習センター
 豊橋技術科学大学
 電話 0532-44-6569

11月1日(土) 15:00~17:00
サイエンスカフェと工作「川でくっつくサイエンス」
 川でくっつくサイエンス、この実験は、おもしろく、くっつき具合を利用して「ゴミ」を新しいものに扱ってみよう!

対象：小学生
 会場：名古屋大学豊田講堂1(1)会議室
 事前申し込み制
 名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局
 電話 052-747-6527

SAKAE Science Talk
 さかえサイエンストーク
市民と専門家との対話イベント
 時間:18:30~20:00 (入場18:00~)
定員:各回とも先着30名程度
 *事前申込不要

なるほど理系講義week
 ちょっと難しい理系の話を、楽しくわかりやすくお話しします。文系陣のあなたにも「なるほど」感をご提供。生活に役立つ話題もあります。

ジオweek
 ジオパークを知っていますか? 地形や岩石、化石などから、ジオ(地球)の歴史を物とします。*協力:豊橋市自然史博物館、豊橋市生命の海科学館

未来社会創造week
 いつまでも活き活きと活動し暮らせる社会を創るために、名古屋大学教授陣のリーダーシップです。*協力:名古屋大学未来社会創造機構

ウイメンズweek
 女性目線で気になる科学の話を集めました。リクジョでなくても大歓迎。女子会みたいに盛り上がりましょう。(男性も参加可です。)

エンジェルweek
 自然環境へ配慮し、他者と調和・共生するエンジェルな生き方と、私たちの社会的責任とは。2週間後のESD世界会合へつなげます。

三井住友銀行 SMBC パーク 栄
 栄中心部の交通要路に三井住友銀行の最新ビルが完成。緑あふれる開放的な会場です。*無料

Cafe&Bar Perms (パームス)
 テレビの番組で三井住友銀行の最新ビルが完成。緑あふれる開放的な会場です。*無料

ジヤク堂書店 栄店
 栄店が完成。緑あふれる開放的な会場です。*無料

文化系飲食店「ボクモ」
 栄店が完成。緑あふれる開放的な会場です。*無料

名古屋テレビ塔スカイツキ
 栄店が完成。緑あふれる開放的な会場です。*無料

9/29 森田 宏
 古くは「いのち」の神代より「がん」は多くの命を奪ってきた。過去から現在までの「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

9/30 山田 厚志
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/1 谷村 晋吾
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/2 坂本 裕俊
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/3 長田 敏
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/6 松岡 敬二
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/7 鈴木 和博
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/8 平川 一臣
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/9 仲井 豊
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/10 中川 良平
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/13 高田 広章
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/14 武田 一哉
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/15 新井 史人
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/16 葛谷 雅文
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/17 堀 勝
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/20 下村 吉治
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/21 堀田 美佳
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/22 鈴木 海花
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/23 横山 弥生
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/24 加藤 恵子
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/27 伊藤 恭彦
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/28 伊藤 加奈子
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/29 河口 真理子
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/30 荻原 彰
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史

10/31 原田 さとみ
 「がん」の歴史と最新の治療法について紹介する。
 がん 吉から未来へ一歩に「がん」の歴史



あいちサイエンスフェスティバル2014

サイエンスイベント参加企画一覧

参加費・申し込み方法など、詳細はあいちサイエンスフェスティバル HP をご覧ください。(主催機関の都合により、HP未掲載の場合があります。)

8月26日(火) (プレ企画)
フールが愛した植物園を撮こうー植物園からサイエンスを考えるー
 時間 10:00~15:30
 アスミ 尾花直子 (写真家)、小川 暁 (園芸講師)、足立ゆうじ (名古屋造形大学講師・イラストレーター)
 アスミ 名古屋動物植物学協会 協賛
 対象 中学生~高校生
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、10名程度。名古屋造形大学 (足立) y-adachi@nzu.ac.jp

9月6日(土) (プレ企画)
日本物理学会市民科学講演会「私たちの生活をかえる物質科学」
 時間 14:00~17:00
 アスミ 北澤史一 (東京理科大学工学部)、梶野英樹 (東京工業大学応用セラミックス研究所教授)
 アスミ 名古屋大学工学部 応用電子情報学専攻
 対象 中学生以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、名古屋大学物産・産学連携推進本部 HPより申込
 定員 200名程度 お問い合わせ: outreach@aip.nagoya-u.ac.jp

9月14日(日) (プレ企画)
サイエンスセミナー第4回「ヒッグス粒子の見つかり方」
 時間 13:00~14:30
 アスミ 戸本誠 (名古屋大学大学院理学研究科 准教授)
 アスミ 愛知県図書館 1階 AVホール
 対象 中学生以上
 申し込みお問い合わせ 愛知県図書館読書講座企画グループ、TEL: 052-212-2323

9月20日(土) (プレ企画)
「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト一般公開デー2014
 時間 13:30~16:00
 アスミ あいち産業科学技術創成センター
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 公益財団法人科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部
 TEL: 0561-76-8357

9月28日(日)
小惑星イトカワの砂が教えてくれたことー「はやぶさ」から「はやぶさ2」へー
 時間 14:00~15:30
 アスミ 上川 明 (京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 教授)
 アスミ 京都府立大学の海洋科学館
 対象 中学生以上
 申し込みお問い合わせ 京都府立大学の海洋科学館、TEL: 0533-66-1717

ピピリオバトル: テーマ「サイエンス」
 時間 14:00~15:00
 アスミ 愛知図書館
 対象 中学生以上
 申し込みお問い合わせ 愛知図書館読書講座企画グループ、TEL: 052-212-2323

10月2日(木)
第135回 東三河サイエンスカフェ
 時間 18:30~20:00
 アスミ 河合和久 (豊橋技術科学大学情報・知能工学系 准教授)
 アスミ 豊橋技術科学大学 豊橋駅前サテライトオフィス
 対象 高校生以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、先着20名。東三河サイエンスカフェ事務局
 TEL: 0532-44-1304

10月3日(金)
平成26年度 秋の薬用植物園市民公開講座
 時間 10:00~12:00
 アスミ 名古屋国立大学 田辺通キャンパス 薬学研究科 薬草園
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、9/16必着、定員75名。名古屋国立大学薬学部事務局
 TEL: 052-836-3402

10月4日(土)
青少年のための科学の祭典2014・名古屋大会
 時間 9:30~17:00
 アスミ 名古屋科学館、でんぱの科学館
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 大会事務局 (名古屋科学館) TEL: 052-201-4486

平成26年度 秋の薬用植物園市民公開講座
 時間 10:00~12:00
 アスミ 名古屋国立大学 田辺通キャンパス 薬学研究科 薬草園
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、9/16必着、定員75名。名古屋国立大学薬学部事務局
 TEL: 052-836-3402

10月5日(日)
シンポジウム「東三河のジオパークへ向けて」
 時間 10:00~12:00
 アスミ 高橋誠 (静岡文化・観光部観光政策課)、田嶋朝雄 (伊豆半島ジオガイド協会会長)
 アスミ 豊橋市自然史博物館
 対象 小4以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、先着60名。豊橋市自然史博物館、TEL: 0532-41-4747

ジオツアー「豊橋ジオサイトめぐり」
 時間 13:00~16:30
 アスミ 豊橋市自然史博物館学芸員
 対象 豊橋市ほか
 アスミ 小4以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、9/16必着、定員40名。豊橋市自然史博物館
 TEL: 0532-41-4747

博士が教える科学教室「月夜を満喫しようー地球と月と太陽の不思議な関係」
 時間 15:00~16:30
 アスミ 熊井 誠 (国立天文台 准教授)
 アスミ 大垣市スイトピアセンター コスモドーム/天体観望室
 対象 小学生以上
 申し込みお問い合わせ 大垣市スイトピアセンター、TEL: 0584-84-2000

青少年のための科学の祭典2014・名古屋大会
 時間 9:30~17:00
 アスミ 名古屋科学館、でんぱの科学館
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 大会事務局 (名古屋科学館) TEL: 052-201-4486

新しいイベント情報が
随時追加されています!

巨額、メールマガジンで
サイエンスイベント情報を
提供中

ホームページもご覧ください。
<https://aichi-science.jp/>
 ホームページは あいちさいえんす

Twitter、Facebook等SNSでも情報発信してます!
<https://twitter.com/AichiScienceFes>
<https://www.facebook.com/AichiScienceFestival2014>

10月11日(土)
アサギマダラのマーキング調査
 時間 9:30~11:30 (雨天顺延: 10月12日(日))
 アスミ 北澤 記子 (自然観察指導員)
 アスミ 名古屋市東山動物植物園、植物園会家選りの実行委員会
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111

10月12日(日)
インタープリターと植物園の森を楽しもう
 時間 10:00~11:30、13:00~14:30
 アスミ NPO法人「森と学びを愛する会」
 アスミ 名古屋市東山動物植物園、植物園会家選りの実行委員会
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111

10月13日(祝)
JAXA コズミック・カレッジファンガメンタルコースー
 時間 13:30~14:00
 アスミ コズミックカレッジ公認講師
 アスミ 豊都市生命の海洋科学館
 アスミ 小学校3年生~中学生
 対象 小学生以上
 申し込みお問い合わせ 豊都市生命の海洋科学館、TEL: 0533-66-1717

10月16日(木)
第136回 東三河サイエンスカフェ
 時間 18:30~20:00
 アスミ 青木和久 (豊橋技術科学大学情報・知能工学系 准教授)
 アスミ 豊橋技術科学大学 豊橋駅前サテライトオフィス
 対象 高校生以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、先着20名。東三河サイエンスカフェ事務局
 TEL: 0532-44-1304

10月17日(金)
第92回サイエンスカフェ in 名古屋「水が凍ると熱が出る?身近な物質、その結晶化の不思議」
 時間 18:00~20:00
 アスミ 三浦 亨 (名古屋国立大学大学院システム自然科学研究科 准教授)
 アスミ 7th cafe (セブンスカフェ) / ノディアパーク7期
 対象 小学生以上
 申し込みお問い合わせ 名古屋国立大学大学院システム自然科学研究科サイエンスカフェ事務局
 TEL: 052-872-5802

~子どもも大人も楽しめる~身近な観察会
 時間 10:00~12:00
 アスミ 豊橋市自然史博物館
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111

10月18日(土)
Jr.サイエンス講座
 時間 10:00~11:00
 アスミ 豊橋市環境教育センター
 対象 幼児 (親子連れ) ~中学生
 申し込みお問い合わせ 豊橋技術科学大学読書講座地域連携課、TEL: 0532-44-6569

**ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「次世代へのメッセージ」
 2014年秋・名古屋セッション「世界を見据える、科学で挑む」(仮)**
 時間 13:30~16:40
 アスミ 下村 研 (東ウツルム海洋生物研究所特別上級研究員、2008年ノーベル化学賞)
 アスミ 益川 敏英 (京都府立大学 教授、2008年ノーベル物理学賞)
 アスミ 名古屋国際会議場
 対象 小学生以上
 申し込みお問い合わせ 現職生・名古屋国立大学から選り抜いた世代職員
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、既刊新聞中野史事務所、TEL: 052-211-1852

10月19日(日)
学習教室「スズメバチの巣を解体してみよう」
 時間 13:30~15:30
 アスミ 名古屋川瀬川 (豊橋市自然史博物館学芸員)
 アスミ 豊橋市環境教育センター
 対象 小学生以上 (学年は保護者御任せ)
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、10/2必着、定員24名。豊橋市自然史博物館
 TEL: 0532-41-4747

10月24日(金)
図書館サイエンス夜話 第一夜「情熱サイエンスー植物科学で食糧増産に挑む」
 時間 18:30~19:45
 アスミ 川島 基行 (名古屋大学生物機能学研究所利用研究センター 教授)
 アスミ 名古屋市中央図書館 1集会所
 対象 小学生以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、10/11(10時~)受付開始、定員50名。
 名古屋市中央図書館、TEL: 052-741-9822

10月25日(土)
こどもサイエンスフェスティバル 先端科学技術と社会>サテライトイベント in 津部
 時間 13:15~16:15 (予定)
 アスミ 津部 隆典 (豊橋技術科学大学読書講座地域連携課、TEL: 0532-44-6569)
 アスミ 豊都市生命の海洋科学館サイエンスショールーム
 対象 小学生以上
 申し込みお問い合わせ 豊都市生命の海洋科学館、TEL: 0533-66-1717

ボタニカルーツー ー植物園管理人の温室トークリレーー
 時間 13:30~
 アスミ 東山動物植物園植物会館前集合
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111

10月26日(日)
**名古屋大学出前授業 in 豊橋市自然史博物館
 「植物プランクトンがどう進化したか?ー小さな化石から探る地球変動と生物進化」**
 時間 14:00~15:30
 アスミ 湯澤 清 (名古屋大学大学院理学研究科 准教授)
 アスミ 豊橋市自然史博物館
 対象 小4以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、先着40名。豊橋市自然史博物館、TEL: 0532-41-4747

ボタニカルーツー ー植物園管理人の温室トークリレーー
 時間 13:30~
 アスミ 東山動物植物園植物会館前集合
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111

10月30日(木)
図書館サイエンス夜話 第二夜「魚の神経メカニズム」(仮)
 時間 18:30~19:45
 アスミ 阿部 秀樹 (名古屋大学大学院生命科学系准教授 准教授)
 アスミ 名古屋市中央図書館 1集会所
 対象 中学生以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、10/11(10時~)受付開始、定員50名。
 名古屋市中央図書館、TEL: 052-741-9822

11月2日(日)
オナモミグーツと木の実で標本づくり
 時間 10:30~12:00、13:00~15:30
 アスミ 東山動物植物園植物会館前集合
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111

11月3日(祝)
オナモミグーツと木の実で標本づくり
 時間 10:30~12:00、13:00~15:30
 アスミ 東山動物植物園植物会館前集合
 対象 どなたでも
 申し込みお問い合わせ 名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111

11月7日(金) (ポスト企画)
**図書館サイエンス夜話 第三夜
 「野生動物をどこまで追跡?ー先端技術で行動を記録するバイオロギング」**
 時間 18:30~19:45
 アスミ 山田 隆 (名古屋大学大学院理学研究科 教授)
 アスミ 名古屋市中央図書館 1集会所
 対象 中学生以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、10/11(10時~)受付開始、定員50名。
 名古屋市中央図書館、TEL: 052-741-9822

11月9日(日) (ポスト企画)
ジオツアー「薄曇の嵐に鶴山麓をたどる」
 時間 8:45~16:30
 アスミ 豊橋市自然史博物館学芸員
 アスミ 豊橋市自然史博物館
 対象 小4以上
 申し込みお問い合わせ 事前申込制、10/23必着、定員25名。
 豊橋市自然史博物館、TEL: 0532-41-4747

3日以上にわたって開催されるイベント
 *どなたでもご参加いただけます。

6月28日(土)~9月15日(祝) (プレ企画)
稲田喜一郎生誕120周年特別展「喜一郎の夢」
 時間 トヨタ産業技術記念館特別会場
 アスミ トヨタ産業技術記念館
 対象 小学生以上
 申し込みお問い合わせ トヨタ産業技術記念館、TEL: 052-551-6115

7月11日(金)~10月8日(水)
企画展示「サイエンスがおもしろい」
 時間 愛知図書館
 申し込みお問い合わせ 愛知図書館読書講座企画グループ、TEL: 052-212-2323

7月15日(火)~9月30日(火)
@ライブラリー「おどろき・発見・サイエンス!」
 時間 愛知図書館
 申し込みお問い合わせ 愛知図書館読書講座企画グループ、TEL: 052-212-2323

フェスティバル期間中の毎週・日
ポランティアガイドツアー
 時間 13:00~14:00
 アスミ 豊橋市自然史博物館
 申し込みお問い合わせ 豊橋市自然史博物館、TEL: 0532-41-4747

10月4日(土)~11月16日(日)の土・日・祝
アニマルーツー
 時間 名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111
 申し込みお問い合わせ 名古屋市東山動物植物園、TEL: 052-782-2111

10月11日(土)~11月3日(祝)
第10回自然史博物館自由研究展
 時間 豊橋市自然史博物館
 申し込みお問い合わせ 豊橋市自然史博物館、TEL: 0532-41-4747

10月15日(水)~12月14日(日)
トヨタ産業技術記念館開館20周年特別展「トヨタの進化 喜一郎の夢、その後」
 時間 トヨタ産業技術記念館特別会場
 アスミ トヨタ産業技術記念館
 対象 小学生以上
 申し込みお問い合わせ トヨタ産業技術記念館、TEL: 052-551-6115

あいちサイエンスフェスティバルとは・・・

あいちサイエンスフェスティバルは、愛知県全域で開催される地域科学祭です。ひろく愛知県内で、サイエンスへの興味と関心を喚起し、人々の交流と議論の場を生み出すことを目的に実施しています。10月を丸ごと含む5週間に会期として、会期中は愛知県のどこかで毎日、サイエンスイベントを開催していきます。

2011年度より2013年度まで、科学技術振興機構(JST)より科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域」の支援を受け、名古屋大学が主催し、愛知県内の大学・研究所・博物館等により「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の連携活動として実施しました。

2014年度からは、名古屋大学を中心に、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携活動として運営していきます。

フェスティバル期間以外にも、年間を通して、県内各地でさまざまなサイエンスイベントが開催されており、その情報は、あいちサイエンスフェスティバル HP やメールマガジンでお知らせしています。

「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」事務局 (2014年8月現在): 名古屋大学、愛知県、豊橋技術科学大学、名古屋国立大学、名古屋科学館、名古屋市東山動物植物園、豊都市生命の海洋科学館、豊橋市自然史博物館、日本モンキーセンター、トヨタ産業技術記念館、名古屋造形大学、JAXA 名古屋空宇宙飛行研究拠点、基礎生物学研究所、豊和理工科大学、名古屋文理大学、三井住友銀行 SMCB パーク、愛知こどもの国、名古屋市中央図書館、三豊商會館植物園、大宮市文化事業団 (議不附)

2-2. 名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局企画

2-2-1. 市民向け講演会「先端科学技術と社会」

私たちの生活に密接に関わるようになった科学技術。あいちサイエンスフェスティバルのメイン企画である、市民向け講演会「先端科学技術と社会」では、例年、日本を代表する研究者が、社会と科学技術の関わりについて、お話ししてきました。

今年度は、11月に開かれたESD ユネスコ世界会議に向け、前半の2回は、やや趣を変えて、社会科学とビジネスの分野でESDを牽引するお2人にご講演いただきました。持続可能な社会をつくるために今わたしたちが知るべきこと／行動すべきことについて、参加者の皆さんと一緒に考えました。

後半2回の講演会は、日本を代表する研究者のお2人に、サイエンス研究の最先端についてご講演いただきました。今年9月に世界初のiPS細胞由来の細胞移植手術を実現されたばかりの高橋政代先生に名古屋にお越しいただけたことは、参加者および関係者にとって、大変ありがたいことでした。

2014年9月27日(土) 14:00~16:00

<https://aichi-science.jp/1798>

ESD と国際社会 – ESD 世界会合の成功に向けて –



講演する竹本和彦氏

講師：竹本和彦氏（国連大学サステナビリティ高等研究所長）
 主催者挨拶：松尾清一氏（名古屋大学副総長／名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部長）
 来賓挨拶：吉田英生氏（ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会事務局長）
 司会：成玖美氏（名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部リサーチ・アドミニストレーター）
 開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク栄

国連大学サステナビリティ高等研究所が取り組む研究課題について、組織の沿革や使命を含めて、お話しいただきました。研究所は、「持続可能な社会」「自然資本と生物多様性」「地球環境の変化とレジリエンス」という3つの活動エリアを掲げており、それぞれについて、いくつかのテーマを設定し活動しています。その中から、「水環境と都市に関するイニシアティブ」や「SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ」等のプロジェクトを具体的に説明していただきました。また「ESDの10年」における主な活動例（RCE、ProSPER.Net）についてもご紹介いただき、11月に名古屋で開かれる国際会議の意義と目標についてもご説明いただきました。質疑応答では、たくさんの質問が寄せられ、活気ある講演会となりました。



松尾名古屋大学副総長による主催者挨拶



ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会より、吉田英生事務局長による来賓挨拶

2014年10月4日(土) 14:00~16:00

<https://aichi-science.jp/1800>

丸ごと地球をとっておこうーめぐる、つづく、一緒にー



講演する百瀬則子氏

講師：百瀬則子氏 (ユニーグループ・ホールディングス株式会社
執行役員/グループ環境社会貢献部部長)
主催者挨拶：獅山有邦氏 (名古屋大学教授/名古屋大学学術研究・
産学官連携推進本部副部長)
司会：大住克史氏 (名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
リサーチ・アドミニストレーター)
開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク栄

ユニーのスーパーマーケットが取り組む環境社会貢献活動について、特に「食品リサイクルへの取り組み」、「ESD (持続可能な社会へ向けた学習活動)」、「コミュニティステーションとしての役割」について、お話いただきました。例えば、未利用食品を堆肥や飼料にして育てた野菜や豚を販売するという、食品リサイクルループの仕組みなど、全国に先駆けてユニーが取り組んだ事例や、他機関と連携して取りくむ環境学習/イベント、授産施設制作作品の販売事例、そして、災害時の避難場所としても役立つスーパーマーケットの公共的可能性など、どれも、普段のお買い物では気づかなかったユニーの社会貢献活動の広がりを知ることが出来ました。最後のアンケートでは、参加者の多くが、持続可能な社会に向けたスーパーマーケットの可能性を感じたと回答し、有意義な講演会となりました。



獅山教授による主催者挨拶

2014年10月19日(日) 14:00~16:00

<https://aichi-science.jp/1802>

iPS細胞による網膜再生ー再生医療研究の最先端



講演する高橋政代氏

講師：高橋政代氏 (理化学研究所網膜再生医療研究開発
プロジェクトリーダー)
主催者挨拶：松尾清一氏 (名古屋大学副総長/名古屋大学学術研究・
産学官連携推進本部部長)
司会：成玖美氏 (名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
リサーチ・アドミニストレーター)
開催場所：名古屋大学 ES 館 ES ホール

一般市民の方々に知っておいて欲しい「眼」に関する知識に始まり、加齢黄斑変性とはどのような症状なのか、そしてその治療法として先月実施した iPS 細胞由来の細胞移植手術の手法や現状について、お話しいただきました。意外にも(?)、高橋先生が強調されたのは、日本の医学業界の問題点。例えば、基礎研究のレベルは高いものの、次段階の応用研究者が少ないことや、安全性にこだわり未知のリスクをとることを恐れるあまりに、治験や実用化へ進むまでの時間とコストが非常に高いことなど。しかし後者については、薬事法改正により、今後は迅速な研究の進展が期待されるそうです。医師であり研究者であるだけでなく、医療技術の実用化に向けた戦略家としての高橋先生の一面も垣間見たような気がします。再生医療研究の今後の進展が非常に期待される講演となりました。



講演に聴き入る参加者

2014年10月25日(土) 14:00~16:00

<https://aichi-science.jp/1804>

生命の時を刻むタンパク質 – 生物はどのように時間を感じるか –



講演する近藤孝男氏

講師：近藤孝男氏（名古屋大学大学院理学研究科特任教授）

主催者挨拶：國枝秀世氏（名古屋大学理事／副総長）

司会：梅村綾子氏（名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
リサーチ・アドミニストレーター）

開催場所：三井住友銀行 SMBC パーク栄

生物の体内時計研究により、2011年紫綬褒章、2014年日本学士院賞を受賞された、名古屋大学大学院理学研究科の近藤孝男教授にご講演頂きました。講演では、生物の時を刻むタンパク質（Kaiタンパク質）発見までの道のりを多くの実験データとともにご紹介頂きました。また、その働く仕組みについて、振り時計に比較しながら興味深くご説明頂きました。会場から多くの熱心な質問の声が上がり、大変盛り上がった講演会となりました。



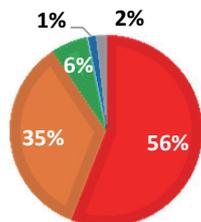
國枝名古屋大学理事による
主催者挨拶

* 参考資料：講演会アンケートより

各講演会終了後、参加者の皆様にアンケートにご協力いただきました。結果の抜粋を掲載します。（回答者総数：278名）

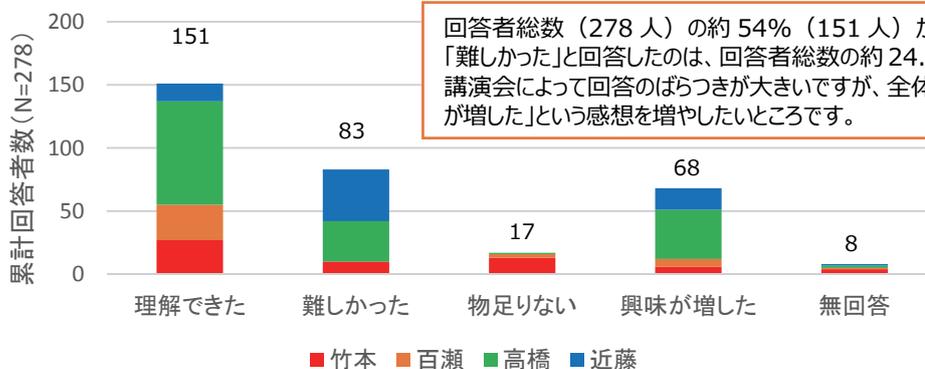
図1 本日の講演会はいかがでしたか（全体）

■満足 ■まあ満足 ■少し不満 ■不満 ■無回答



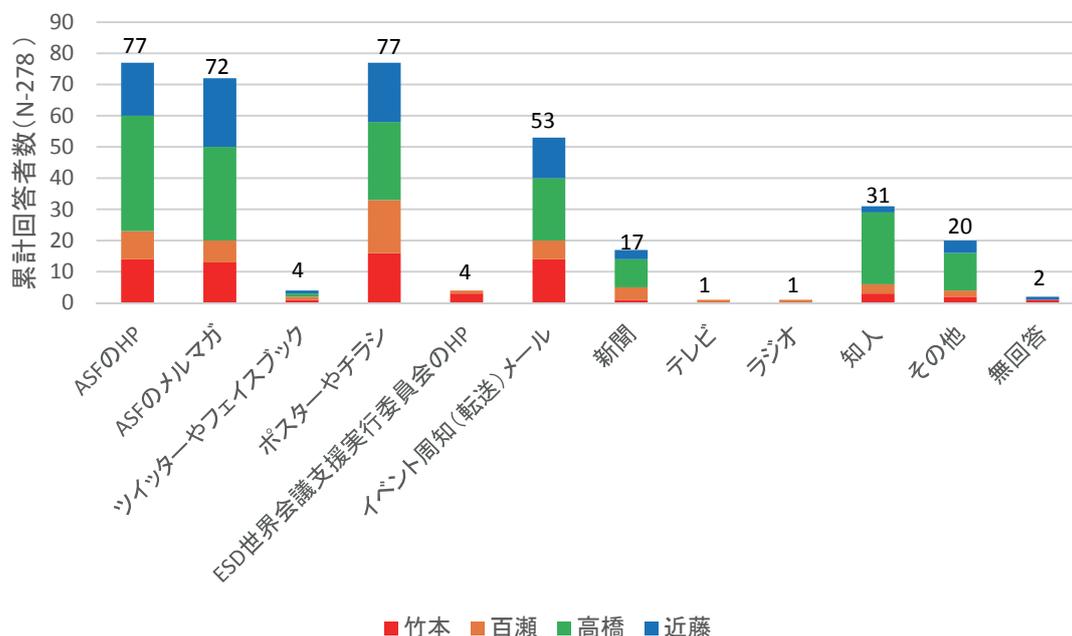
半数以上が「満足」を選択しています。「満足」と「まあ満足」を合わせると9割を超え、全体的に満足度が高かったと評価できます。

図2 本日のテーマについて（全体） *複数回答可



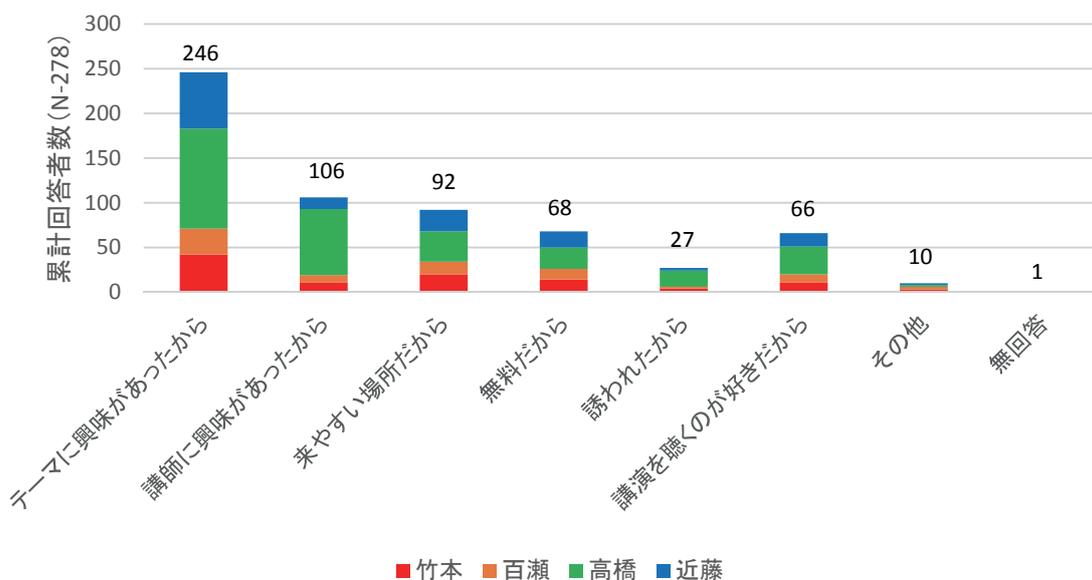
回答者総数（278人）の約54%（151人）が「理解できた」と回答し、「難しかった」と回答したのは、回答者総数の約24.5%（83人）でした。各講演会によって回答のばらつきが大きいですが、全体としては、もう少し「興味が増した」という感想を増やしたいところです。

図3 本日の講演会の情報をどのように知りましたか？（全体） *複数回答可



HPやメールなどのネット情報と、ポスターやチラシなどの印刷物が、重要な情報源だったことがわかります。今後も両方向からの広報をしていきたいと思ひます。今回はテレビやラジオでの露出が小さく、広報効果は小さかったようです。また、現状ではツイッターやフェイスブックの効果も小さいですが、今後は積極的に発信し、効果を高めたいと思ひます。

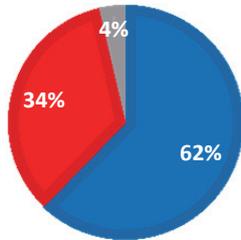
図4 参加しようと思つた理由・きっかけは？（全体） *複数回答可



テーマで選ぶ人が圧倒的に多く、関心を引くテーマ選びが重要であることがわかります。また、「来やすい場所」や「無料」であることも、引き続き考慮したいと思ひます。

図5 参加者の性別（全体）

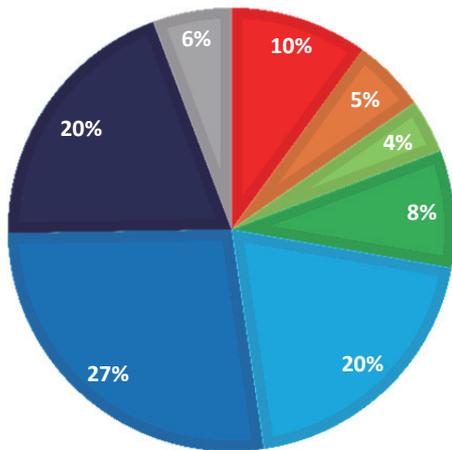
■ 男 ■ 女 ■ 無回答



一般に「サイエンス」は男性が好む話題であると言われてますが、今回の講演会には、女性にもかなりご参加いただきました。今後も女性研究者の講演などを企画していきたいと思ひます。

図6 参加者の年齢（全体）

■ 10代以下 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上 ■ 無回答



参加者の年齢層は、50代以上が7割近くを占めました。20代～40代の方にも、もっと参加してもらえよう、企画を工夫したいと思ひます。

2-2-2. さかえサイエンストーク

市民と専門家との対話イベント、さかえサイエンストーク。2014年度も、期間中の平日毎夜開催しました。今年度から新たな会場として、Café&Bar Perms（パームス）を開拓し、飲み物と軽食を楽しみながらのサイエンスカフェが増えました。



■月曜会場：三井住友銀行 SMBC パーク 栄（愛知県名古屋市中区錦 3-25-20）

栄中心部の交通至便な三井住友銀行の情報提供施設。緑あふれる開放的な会場です。
* 無料（ドリンク等の提供はありません。）



■火曜会場：Café&Bar Perms(パームス)（愛知県名古屋市中区泉 1-23-36 NBN 泉ビル 1 階）

テレビ塔の北東に位置する、テラスが印象的なお洒落カフェ。
* 1 オーダー制。軽食とドリンクの特別セット 900 円も用意しました。



■水曜会場：ジュンク堂書店 ロフト名古屋店（愛知県名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク 7 階）

矢場町ロフト7階の、専門書に強い書店の一角（ブックサロン）。テーマに即した書籍もご紹介します。
* 無料（ドリンク等の提供はありません。）



■木曜会場：文化系飲食店「ボクモ」(愛知県名古屋市中区栄 5-26-39 GS 栄ビル地下 1 階)

矢場町で文化系イベントの主催もしている、こだわりパブ。
* 1 オーダー制。



■金曜会場：名古屋テレビ塔スカイデッキ（愛知県中区錦 3-6-15）

極上の夜景を楽しみながらのサイエンス。
* エレベーター料金 100 円割引。「あいちの水」1 本進呈。



* 10月22日と29日（水）はCafé&Bar Permsで開催しました。

■第1週:

2014年9月29日(月)~10月3日(金)

なるほど理系講義 week

ちょっと難しい理系の話を、楽しくわかりやすくお話しします。文系頭のアナタにも「なるほど」感をご提供。生活に役立つ話題もあります。

2014年9月30日(火)

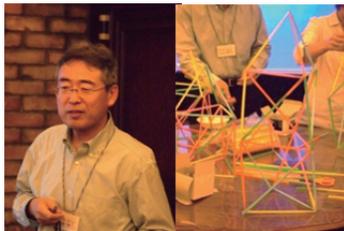
Café&Bar Perms

<https://aichi-science.jp/1820>

自助と共助を鍛える参加型市民工学のススメ —ストロー工作で体感する防災・減災のワザ—

ゲスト: 山田厚志氏 ((株)山田組代表取締役)

ファシリテーター: 成秋美氏 (名古屋大学サーチアドミニレーター)



名古屋市人口は約220万人、名古屋市所有の救急車は約40台! 大震災が起きたら、救急車が来てくれる確立は、宝くじに当たるようなもの!

「官助」に頼る発想をあらためて自助・「近助」・共助による備えの重要性を、楽しくお話しいただきました。トーク後は、ストローとクリップを使ったストローハウス工作に没頭し、「はすかい」の効果について実感しました。

2014年10月2日(木)

文化系飲食店「ボクモ」

<https://aichi-science.jp/1824>

「あな」があったら...入りたい? —分子細孔の魅力—

ゲスト: 坂本裕俊氏 (名古屋大学 ERATO 伊丹分子ナノカーボンプロジェクト特任助教)

ファシリテーター: 梅綾子氏 (名古屋大学サーチアドミニレーター)



坂本氏がこれまでに研究されてきた「あなだらけ」の物質について、紹介しました。「あなだらけ」は無用の空洞ではなく、分子の吸着、貯蔵などといった性質を備えることで、工業、環境、医療、

エネルギー問題を解決するのに有用なことを分かりやすく解説頂きました。今世界が注目する最先端の「あなだらけ」物質もご紹介頂き、沢山の質問が飛び交う中、参加者もその魅力にハマっていました。

2014年9月29日(月) 三井住友銀行SMBCパーク栄

<https://aichi-science.jp/1818>

がん 古から未来へ—癌に罹患しない為に—

ゲスト: 森田宏氏 (内藤記念くすり博物館館長)

ファシリテーター: 成秋美氏 (名古屋大学サーチアドミニレーター)



「がん」の歴史、原因、代表的な「がん」、治療薬、「がん」に罹患しないために、という5つの柱に沿って、お話しいただきました。特に、分子標的薬

という新薬が開発されており、ここ数年の間に、薬によるがん治療が飛躍的に進んでいることが印象的でした(ただし、副作用も強いとのこと。) 何度も「がんは生活習慣病である」ことを強調され、普段の食生活や、定期健診による身体のチェックを怠らないよう、アドバイスがありました。

2014年10月1日(水)

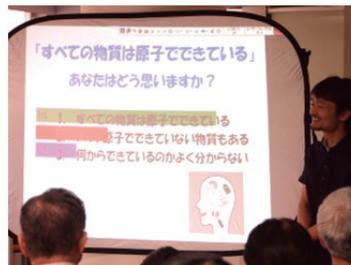
ジューク堂書店ロフト名古屋店

<https://aichi-science.jp/1822>

光子の逆説—マイクロの世界の不思議—

ゲスト: 谷村省吾氏 (名古屋大学大塚利謙研究室准教授)

ファシリテーター: 梅綾子氏 (名古屋大学サーチアドミニレーター)



光は波なのか、粒なのか。波だと考えれば説明がつくこともあり、粒だと考えれば説明がつくこともあり...。まるでトリックアートのような様相を見せる光の世界の不思議

について、お話しいただきました。ちょっとした実験やユーモアも交えて、わかりやすく面白い、量子力学のお話でした。

2014年10月3日(金)

名古屋テレビ塔スカイデッキ

<http://aichi-science.jp/1921>

製品事故の原因を探るサイエンス

—「氷壁」ザイル切断事故から最新線情報まで—

ゲスト: 長田敏氏 ((独)製品評価技術基盤機構(NITE)製品安全センター参事官)

ファシリテーター: 成秋美氏 (名古屋大学サーチアドミニレーター)



石岡繁雄氏(名古屋大学出身)のナイロンザイルの強度をめぐる生涯をかけた科学的証明。その精神を受け継ぎ、製品安全をミッションとしている「製品評価技術基盤機構(NITE)」の役割や

最新事例についてもご紹介いただきました。夜景目当てでテレビ塔を訪れたお客様も、オープンスペースならではの雰囲気、サイエンスな夜を楽しみました。

■第2週：
2014年10月6日(月)～10月10日(金)

ジオ week

ジオパークを知っていますか？ 地形や岩石、化石などから、ジオ（地球）の歴史をひもときます。

* 協力：豊橋市自然史博物館、
蒲郡市生命の海科学館

2014年10月7日(火) **Café&Bar Perms**
<https://aichi-science.jp/1831>

モノが語る歴史を読み解く —年代測定による由来探しのサイエンス—

ゲスト：鈴木和博氏（名古屋大学名誉教授）

ファシリテーター：松岡敬二氏（豊橋市自然史博物館館長）



炭素14を用いた遺物の年代測定についてお話いただきました。長崎沖で発見された木石碇の年代測定の結果、元寇の背景に日本の金銀を狙うイスラム商人の後押しがあったことが推察されるそうです。また、現代の里山キツネがいなくなった時期について、遺骸と一緒に見つかったチキンラーメンの袋が重要な鍵を握っていたそうです。理系の研究によって歴史的事実を推定する、とても面白いお話でした。

2014年10月9日(木) **文化系飲食店「ボクモ」**
<https://aichi-science.jp/1835>

石が語る日本列島の土台

ゲスト：仲井豊氏（愛知教育大学名誉教授）

ファシリテーター：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館学芸員）



日本列島の基盤岩が花崗岩であることは、よく知られていると思います。今回は、花崗岩の特徴や調査方法に始まり、日本の主な花崗岩の年代や、それが形成された時代の様子、

また実際にどのようにして花崗岩が作られるのかまで、幅広くお話いただきました。はるか大昔にさかのぼる話題も多かったですが、ファシリテーターが適宜、ネット検索した画像などを映写することで、トーク内容がわかりやすく、ビビッドに伝わりました。

2014年10月6日(月) **三井住友銀行SMBCパーク茶**
<https://aichi-science.jp/1829>

ジオパークって何だろう？—東三河のジオサイト—

ゲスト：松岡敬二氏（豊橋市自然史博物館館長）

ファシリテーター：成秋美氏（名古屋大学リサーチアドミニストレーター）



中央構造線が縦断する東三河一帯は、大地の痕跡を知るジオサイトの宝庫。たくさんの写真を映写しながらジオサイトの見所を紹介していただきました。県内に住んでいながら初めて

知る場所も多く、参加者からはアクセスの課題や、説明板設置要望などの意見も出されました。複数の自治体が協力して事を進める必要があることから、ジオパーク認定は簡単ではないようですが、市民レベルからも盛り上げてジオパーク認定が実現することを期待したいと思います。

2014年10月8日(水) **ジュンク堂書店ロフト名古屋店**
<https://aichi-science.jp/1833>

過去の超巨大津波の痕跡・津波堆積物を探る

ゲスト：平川一臣氏（北海道大学名誉教授）

ファシリテーター：山中敦子氏（蒲郡市生命の海科学館学芸員）



東日本大震災以降、注目されている「津波堆積物」、つまり過去の大地震や津波の痕跡について、千島海溝から日本海溝、南海トラフ、日本海東縁沿岸での調査結果についてお

話いただきました。会場には、実際の津波堆積物のサンプルをお持ちいただき、地層のように見える堆積物の違いについて目にすることができました。とは言え、素人目にはなかなか層の違いがわかりにくく、会場からは、実際に海岸等へ行って現地で見たいという声も上がりました。

2014年10月10日(金) **名古屋テレビ塔スカイデッキ**
<http://aichi-science.jp/1846>

化石から読み解く日本列島の哺乳類相の起源 —ミエゾウからドブネズミまで—

ゲスト：中川良平氏（三重県総合博物館学芸員）

ファシリテーター：寺島彰氏（名古屋大学理学部/あいちサイエンストークをやる会）



講師の中川さんは、2010年に石垣島で国内最古のヒト化石を発見した研究者のお1人。第四紀までの哺乳類化石記録は断片的ではあるものの、現在の日本と

は異なる種類の哺乳類が多数住んでいたことがわかっていそうです。一方、中期更新世以後の洞窟からは多くの化石が発見されており、多様な環境下における動物相の変遷情報が得られているとのことでした。

■第3週：
2014年10月13日（月）～10月17日（金）

未来社会創造 week

いつまでも生き生きと活動し暮らせる社会
を創るために。名古屋大学教授陣のリ
ートークです。

*協力：名古屋大学未来社会創造機構

2014年10月14日（火） **Café&Bar Perms**
<https://aichi-science.jp/1856>

音の不思議の科学
ー知っているようで知らない世界へようこそー
ゲスト：武田一哉氏（名古屋大学未来社会創造機構教授）
ファシリテーター：小池春妙氏（名古屋大学サーチアドミストレーター）



「音」の研究について、「音響の物理」から、「コミュニケーションとしての音」まで、お話いただきました。いまや音の研究は、工学を基礎としながらも、情報学として研究が進められているとのこと。人間の声を機械等で再現する試みの進歩について、ふいごを使った初歩的な仕掛けにはじまり、初音ミクの完成度にいたるまで、映像を用いた楽しいトークでした。大学院生による実演もあり、カフェの雰囲気とマッチした、サイエンスの夕べとなりました。

「音」の研究について、「音響の物理」から、「コミュニケーションとしての音」まで、お話いただきました。いまや音の研究は、工学を基礎としながらも、情報学として研究が進められているとのこと。人間の声を機械等で再現する試みの進歩について、ふいごを使った初歩的な仕掛けにはじまり、初音ミクの完成度にいたるまで、映像を用いた楽しいトークでした。大学院生による実演もあり、カフェの雰囲気とマッチした、サイエンスの夕べとなりました。

2014年10月16日（木） **文化系飲食店「ボクモ」**
<https://aichi-science.jp/1860>

健康長寿のひけつー栄養とフレイルを中心にー
ゲスト：葛谷雅文氏（名古屋大学未来社会創造機構教授）
ファシリテーター：富田竜太郎氏（名古屋大学サーチアドミストレーター）



ことや、高齢化がもたらす地域医療の重要性についても触れ、参加者からの様々な疑問に答えていただきました。超高齢社会の医療課題について、社会と個人で対応していかなければならないと感じました。

超高齢社会に突入した日本にとって重要な老年医学を、健康長寿の秘訣を中心に話をさせていただきました。「肉を食べることは不健康」と安易に考えず、しっかりと取る

2014年10月13日（月） **ジュンク堂書店ロフト名古屋店**
<https://aichi-science.jp/1843>

コンピュータ化する自動車の今とこれから
ゲスト：高田広章氏（名古屋大学未来社会創造機構教授）
ファシリテーター：松枝世氏（名古屋大学サーチアドミストレーター）
*台風接近により中止となりました。



（予定されていたトーク内容：エアバック、窓、衝突回避装置など、自動車に組み込まれたたくさんのコンピュータシステム、その

実例を紹介しながら、未来の自動車の姿について考える。）

2014年10月15日（水） **ジュンク堂書店ロフト名古屋店**
<https://aichi-science.jp/1858>

未来を拓くロボット技術
ゲスト：新井史人氏（名古屋大学大学院工学部教授）
ファシリテーター：柴田谷氏（名古屋大学サーチアドミストレーター）

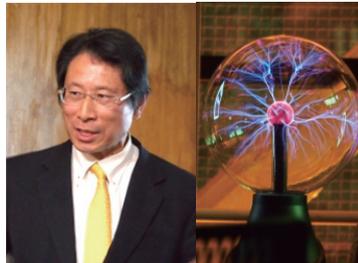


実際に社会で活躍しているロボットや、世界のロボット研究者が開発している最先端のロボットまで、幅広くお話いただきました。実際のロボットの映像をふんだんに見ることができ、

ロボット研究の現状を大変わかりやすく知ることが出来ました。新井氏は、生物の動きに近いロボットを開発したいとのこと。その点では、まだ機械音や柔軟さ等の点で、課題が大きいそうです。会場からは、癒しのためのロボットや、人間のよこしまな心を察知して抑えるセンサー付きロボットなど、ロボット開発への様々な期待が示されました。

2014年10月17日（金） **名古屋テレビ塔スカイデッキ**
<http://aichi-science.jp/1862>

プラズマで「がん」を治すはなし
ゲスト：堀勝氏（名古屋大学未来社会創造機構教授）
ファシリテーター：住吉美奈子氏（名古屋大学サーチアドミストレーター）



プラズマで癌を治すと聞くと、患部にプラズマを照射するのだと想像していましたが、それだけでなく、プラズマを照射した培養液を患部に注射することで

も、効果がありそうとのこと。着実に研究データが蓄積されているようで、これが実現したら夢のような話だと、参加者一同、感動のサイエンストークでした。プラズマの効用は農・水産業など他分野にも応用可能とのこと。プラズマ研究の今後に、大注目です。

■第4週：
2014年10月20日（月）～10月24日（金）

ウィメンズ week

女性目線で気になる科学の話を集めました。リケジヨでなくても大歓迎。女子会みたいに盛り上がりましょう。（男性も参加可能です。）

2014年10月21日（火） **Café&Bar Perms**

<https://aichi-science.jp/1872>

“自己美肌力”皮膚幹細胞研究の美容分野への応用 ゲスト：堀田美佳氏（日本メナード化粧品(株) 総合研究所主任研究員）

ファシリテーター：玉井崇氏（名古屋大学サーチアドミストレーター）



幹細胞を用いた化粧品開発の現状と今後について、お話いただきました。各社しのぎを削って幹細胞を用いたアンチエイジング化粧品の研究を進めている今、メナードでも肝

細胞の動きを活性化する女性ホルモンを活用して、効果の高い美容クリームを開発しているそうです。女性参加者を中心に、化粧品の安全性についての質問も出て、身近な商品を支えるサイエンスの現場について考えました。

2014年10月23日（木） **文化系飲食店「ボクモ」**

<https://aichi-science.jp/1876>

数理が生み出す「かたち」アート
— 美の規則性を見よう —

ゲスト：横山弥生氏（大同大学情報学部教授）

ファシリテーター：梅綾子氏（名古屋大学サーチアドミストレーター）



数理とデザイン（絵画）の関係性や、数理を用いたCG作品制作の軌跡をご紹介いただきました。黄金比や白銀比、数列など、優れた絵画やデザインには、数理が隠れていることが多いとか。本邦初公開のデザインや、3Dプリンタで作成した作品もご紹介いただきました。ワインを楽しみながら、アートかつサイエンスな世界を堪能した夜でした。

2014年10月20日（月） **三井住友銀行SMBCパーク栄**

<https://aichi-science.jp/1870>

ダイエットの科学—アミノ酸と運動の活用—

ゲスト：下村吉治氏（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）

ファシリテーター：寺島肇氏（名古屋大学理学部あいちサイエンスークをやってみる会）



ダイエットについて、食事の仕方や運動の効果など科学的根拠に基づいてお話いただきました。運動は健康の維持・増進に有効ではあるものの、継続する

のが難しいものですが、その「運動による筋肉痛や疲労感」というダイエットの阻害要因を克服する方法もまた、科学的根拠からご説明頂きました。実践の前に頭で理解する、効果的なダイエットのお話でした。

2014年10月22日（水） **Café&Bar Perms**

<https://aichi-science.jp/1874>

われら虫愛づる姫君の未裔たち

ゲスト：鈴木海花氏（フォトエッセイスト）

ファシリテーター：佐藤裕美子氏（名古屋昆虫研究会）



本の出版を機に広がった活動の輪や、女性ならではの虫の愛で方などについてお話いただいた後、たくさんの虫の写真を見ながら、参加者と和気藹々とした虫の夕べを

楽しみました。女性は虫の変化（卵から成虫まで）を楽しむ傾向にあるという指摘や、女性は複数で行動することが重要という指摘が印象的でした。会場にはたくさんの名古屋の虫好き女性が集まってくれました。

2014年10月24日（金） **名古屋テレビ塔スカイデッキ**

<http://aichi-science.jp/1878>

骨の話—あなたの骨は大丈夫？—

ゲスト：加藤恵子氏（名古屋文理大学食と栄養研究科教授）

ファシリテーター：山本ちか氏（名古屋文理大学准教授）



ウィメンズ Week 最終日は名古屋文理大学の加藤恵子先生にお話しいただき、高齢時に問題になる骨粗しょう症を中心に「骨の話」をしていただきました。高齢時になぜ骨粗しょう

症になるのか、骨粗しょう症になるとどのようなことが起きるのかを話をしていただき、アンケートを通して骨粗しょう症を防ぐ日頃の取組について話をしていただきました。参加された皆さんには予防の大切さを感じたようです。

■第5週：
2014年10月27日(月)～10月31日(金)

エシカル week

自然環境へ配慮し、他者と調和・共生するエシカルな生き方と、私たちの社会的責任とは。2週間後のESD世界会合へつなげます。

2014年10月28日(火) **Café&Bar Perms**
<https://aichi-science.jp/1883>

女性のエシカル医療

ゲスト：伊藤加奈子氏(ココカラウイメンズクリニック院長)
ファシリテーター：成久美氏(名古屋大学サードアドミニストレーター)



ゲストは、西洋医学に基づく「医師」でありながら、多様な考え方を柔軟に取り入れ、ナチュラルでポジティブな生き方を提案されています。女性がココロもカラダもきれいで

元気であるためには、自らが自分のからだや病気のことを知り、プチ不調をケアすることが重要であるとのことでした。西洋医学だけでなく、中国医学やアールヴェーダの考え方も参考にして、自然のリズムを意識しながら日々暮らすことの大切さについても紹介され、参加者は目を開かれた思いでトークに聞き入っていました。

2014年10月30日(木) **文化系飲食店「ボクモ」**
<https://aichi-science.jp/1888>

科学技術の未来と教育 —なつかしい未来はありうるのか—

ゲスト：荻原彰氏(三重大学教育学部教授)
ファシリテーター：成久美氏(名古屋大学サードアドミニストレーター)



共同体と自然から離れることを目指した近代的自我のあり方を批判的に捉え、「私」との関係性をふくみこんだ存在として自然をとらえることによる「場所の知」の重要性を提起されました。

参加者からは、共同体への呪縛や排除を経験した女性やマイノリティの解放という面では近代を評価すべきであるとの意見も出て、参加者同士の対話から多くの論点が出されたサイエンスカフェとなりました。

2014年10月27日(月) **三井住友銀行SMBCパーク栄**
<https://aichi-science.jp/1881>

さもしい人間—エシカルな正義をさがす哲学の話— ゲスト：伊藤恭彦氏(名古屋大学大学院人間文化研究科教授)

ファシリテーター：成久美氏(名古屋大学サードアドミニストレーター)



「さもしさ」をキーワードに、グローバル社会におけるエシカルな生き方について考えました。普段、「さもしい」という言葉は人間の性格をあらわす言葉として使われますが、

「関係のさもしさ」という点から社会を見直し、他者との「さもなくば」関係を築くことが重要とのこと。リベリズムの立場から、お互いの関係の「不正」な構造を矯正するための具体的な方法を探るべきことであると考えさせられました。

2014年10月29日(水) **Café&Bar Perms**
<https://aichi-science.jp/1886>

エシカルライフのススメ

ゲスト：河口真理子氏((株)大和総研首席研究員)
ファシリテーター：成久美氏(名古屋大学サードアドミニストレーター)



生産や処理の現場を消費者から見えないようにしている現状の大量消費社会を問題視し、生産と消費がつながるエシカルな経済循環モデルを

実現するには、消費者自身の責任が大きいくことが指摘されました。具体的事例として、ゲストが主唱している「エシカルウエディング」についても紹介され、モノの背後にあるエシカルなストーリーを大事にし、楽しながら選択する消費行動の蓄積が、企業に影響を与え、社会全体のエシカル化につながるという道筋が提案されました。

2014年10月31日(金) **名古屋テレビ塔スカイデッキ**
<http://aichi-science.jp/1890>

地球とのフェアトレード—エシカルなごやを目指して—

ゲスト：原田さとみ氏(エシカルペネロプ(株)代表取締役)
ファシリテーター：成久美氏(名古屋大学サードアドミニストレーター)



パリのエシカルファッション展示会の様子など、国際的に「エシカル」という考え方が注目されている動向を説明いただきました。また JICA 中部オフィシャル・サポーターとしての活動

を通じて見た途上国の様子についても紹介され、途上国支援への日本の貢献状況についても知ることが出来ました。途上国の伝統的な暮らしや文化を守りながら、グローバル社会にも対応し売る生産・流通活動をおこなうフェアトレードを活発にすべきと感じました。

2-2-3. サイエンスカフェと工作「エコで『くつつく』サイエンス」

今年度、事務局企画としては初めて、子ども向けのイベントを企画・実施しました。定員を超える多くの参加申し込みをいただき、保護者も含め、参加者には大変好評をいただきました。今後も、子ども向けのイベントを企画していきたいと思います。

2014年11月1日（土）15:00～17:00

<https://aichi-science.jp/1922>

サイエンスカフェと工作 「エコで、『くつつく』サイエンス」



ゲスト：田嶋聡美氏（名古屋大学工学研究科特任准教授）
 佐藤綾人氏（名古屋大学 WPI-ITbM 特任講師）
 吉野奈津子氏（名古屋大学全学技術センター 野外観察園技術職員）

ファシリテーター：梅村綾子氏（名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
 リサーチ・アドミニストレーター）

開催場所：名古屋大学豊田講堂第1会議室

田嶋氏のブース「表面を工夫してみよう」

今年11月に、名古屋でESD子ども世界会議が開催されることを背景に、小学生向け・サイエンスカフェと工作『エコで、『くつつく』サイエンス』を企画しました。参加者の子ども達に、身の回りの「くつつく」しくみを、物理（表面を工夫してみよう）・化学（のりを作ってみよう）・植物（ひつつきむしをみてみよう）という様々なサイエンスの視点で考えてもらい、そこから生まれたアイデアをもとに廃材を用いて工作してもらいました。子ども達、そして同伴の大人達も「くつつく」現象に敏感になり、数々の実験と説明に興味をかきたてられた2時間となりました。



佐藤氏のブース
 「のりを作ってみよう」



吉野氏のブース
 「ひつつきむしを観てみよう」

2-3. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関の

主催企画

あいちサイエンスフェスティバルは、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携活動として運営しています。今年度は、フェスティバル期間中および前後期間のプレ/ポスト企画を合わせ、計 37 のイベントが開催されました。(実際には、下記以外にもフェスティバル期間中に開催されたイベントがありましたが、ここではポケットガイドでの事前告知をおこなったイベントのみ、記載します。)

2-3-1. 単発イベント (開催期間 2 日間まで)

(プレ企画) **主催：名古屋造形大学・名古屋大学学術
2014年8月26日(火) 研究・産学官連携推進本部**
<https://aichi-science.jp/1816>
ファーブルが愛した植物画を描こう—植物画からサイエンスを考える
ゲスト：柘植綾子氏 (水彩画家)、小川純氏 (歯科医師)、
足立ゆうじ氏 (名古屋造形大学講師/イラストレーター)



会場：名古屋市東山動物園植物園植物会館研修室
植物画を愛したファーブルについてのレクチャーと、植物画を描く基礎的のレクチャーを受けた後、実際に植物画を描く体験をおこないました。また、植物園ガイドボランティアさんにご協力

いただいた植物園内を散策し、植物の面白さについても見識を深めました。植物をじっくり観察し、その葉のつき具合や花の構造の意味を探ることは、まさにサイエンスな姿勢であると思われました。

(プレ企画) **主催：愛知芸術文化センター
2014年9月14日(日) 愛知県図書館**
<https://aichi-science.jp/1790>
サイエンスセミナー第4回「ヒッグス粒子の見つけ方」
ゲスト：戸本誠氏 (名古屋大学大学院理学研究科准教授)



会場：愛知県図書館 1 階 AV ホール
名古屋大学の研究者を招いて 8 月から始まったサイエンスセミナー全 4 回のテーマは宇宙物理などどれも平易なテーマではなかったのですが、毎回多くの参加者がありました。会場から難しい質問も多く、「またやってほしい」という熱い声がたくさん寄せられました。台風接近でお客様がいらっしゃる心配な回もありましたが、杞憂に終わり盛況でした。

(プレ企画) **主催：愛知県、
2014年9月20日(土) 公益財団法人科学技術交流センター**
<https://aichi-science.jp/1879>
**「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト
一般公開デー2014**
会場：あいち産業科学技術総合センター



「知の拠点あいち」で行っている重点研究プロジェクトについて、最新の研究成果を研究者自らが実演を交えて紹介しました。当日は 50 名を超える子供達もキッズプ

ログラムに参加し、最先端の科学技術に触れることができました。

2014年9月28日(日) 主催：蒲郡市生命の海科学館
<https://aichi-science.jp/1866>
小惑星イトカワの砂が教えてくれたこと
—「はやぶさ」から「はやぶさ 2」へ—
ゲスト：土山明氏 (京都大学大学院理学研究科教授)



会場：蒲郡市生命の海科学館
あいちサイエンスフェスティバル 2014 オープニング・レクチャーとして、京都大学大学院理学研究科の土山明教授にお越しいただきました。土山教授が実際に行なってこられたイトカワの砂の調査・分析の様子や、12 月に打ち上げ予定の「はやぶさ 2」によるサンプルリターン方法など、クイズを交えながら楽しく講演していただきました。定員を超える方々がご参加下さいました。

主催：愛知芸術文化センター
 2014年9月28日(日) 愛知県図書館
<https://aichi-science.jp/1848>
ビブリオバトル：テーマ「サイエンス」



会場：愛知芸術文化センター愛知県図書館
 高校生から70代まで幅広い年代層の5人のバトル（発表者）に、「サイエンス」をテーマにおすすり本を語っていただきました。会場の参観者のみなさんからもたくさん質問があり、大いに盛り上がった楽しい1時間でした。今回のチャンプ本は、30代の女性が熱く語った『知られざる宇宙 海の中のタイムトラベル』になりました。

主催：豊橋技術科学大学
 2014年10月2日(木) <http://aichi-science.jp/1729>
**第135回東三河サイエンスカフェ
 「3Dプリンタ(3D Printer)**



－情報A－Z「番外」の巻－
 ゲスト：河合和久氏（豊橋技術科学大学准教授）
 会場：豊橋技術科学大学豊橋駅前サテライトオフィス
 今回は、番外編（数字の3）として、最近何かと話題の3Dプリンタについて、考えてみました。CTデータをもとに内蔵の模型をつかって、手術前説明を行ったり、はては、拳銃をつくった事件もありました。今回は、3Dプリンタについてサイエンスしてみました。

2014年10月3日(金)～4日(土)
 主催：名古屋市立大学
<https://aichi-science.jp/1741>
平成26年度 秋の薬用植物園市民公開講座
 会場：名古屋市立大学薬学研究所薬草園



10月3～4日に、名古屋市立大学薬学部では、薬用植物園市民公開講座を開催し、150名の方々にご参加いただきました。今回は、1輪だけ咲いたウコンの花を見ていただいたほか、薬草園で栽培したハーブを使ったハーブティーや、しそジュースを試飲していただきました。

2014年10月4日(土)～5日(日)
 主催：名古屋市科学館
<https://aichi-science.jp/1939>
青少年のための科学の祭典2014・名古屋大会
 会場：名古屋市科学館、でんきの科学館



名古屋市科学館とでんきの科学館を会場に、50を超える実験工作ブースが並び、大盛況でした。サイエンスステージも毎回盛り上がりました。

2014年10月5日(日) 主催：豊橋市自然史博物館
<https://aichi-science.jp/1896>
シンポジウム「東三河のジオパークへ向けて」
 ゲスト：高橋誠氏（静岡県文化・観光部観光政策課）
 田畑朝恵氏（伊豆半島ジオガイド協会会長）
 会場：豊橋市自然史博物館



「ジオパーク」が地域社会にどのように貢献しているかについて、認定に向けた取り組み事例を発表しました。

2014年10月5日(日) 主催：豊橋市自然史博物館
<https://aichi-science.jp/1900>
ジオツアー「豊橋ジオサイトめぐり」
 ゲスト：豊橋市自然史博物館学芸員
 会場：豊橋市ほか



* 荒天のため中止されました。

2014年10月5日(日) 主催：大垣市文化事業団

<https://aichi-science.jp/1945>

博士が教える科学教室「皆既月食を楽しもう
－地球と月と太陽の不思議な関係－

ゲスト：縣秀彦氏(国立天文台准教授)

会場：大垣市サイトピアセンター



MITAKAの4 D2Uプロジェクトのプレゼンで、10月8日の月食の観望に向けて子どもたちにも分かりやすいお話でした。内容は、「月食はなぜ起こるのか」、「皆既月食の赤銅

色はなぜおきるのか?」、「太陽系の大きさ、銀河系、宇宙の姿のシュミレーション」についてでした。講演後、天体観測室に移動し、月食の写真撮影、観測方法や天王星の見える位置や時間などの説明も受けました。

2014年10月11日(土) 主催：名古屋市東山動物園

<http://aichi-science.jp/1854>

アサギマダラのマーキング調査

ゲスト：近藤記巳子氏(自然観察指導員)

会場：名古屋市東山動物園



自然観察員と一緒に植物園内でマーキング調査を行いました。その不思議な生態に触れることができました。

2014年10月12日(日) 主催：名古屋市東山動物園

<http://aichi-science.jp/1940>

インタープリターと植物園の森を楽しもう

ゲスト：NPO 法人「水とみどりを愛する会」

会場：名古屋市東山動物園



インタープリターと一緒に植物園内の森を散策したり、樹木を調べたりしました。たくさんの種類の葉っぱやどんぐりをみつけることができました。

2014年10月12日(日) 主催：豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1894>

収蔵庫たんけん「魚類標本」

会場：豊橋市自然史博物館



自然史博物館の収蔵庫に収集保管されている魚類標本を見学しました。

2014年10月13日(祝) 主催：蒲郡市生命の海洋館

<https://aichi-science.jp/1865>

JAXA コズミック・カレッジ－ファンダメンタル★コース

ゲスト：JAXA コズミック・カレッジ公認講師

会場：蒲郡市生命の海科学館



台風が近づき、風が強かったにもかかわらず、午前・午後とも多くの方がご出席くださいました。ご近所の方も、遠くは岐阜や浜松からも、宇宙が大好きな小中学生が集まってくれました。今回のテーマは、「飛ぶ」。身近な道具で実験・体験、そして「はやぶさ2」のお話、いずれも皆さん一生懸命聞いて、遊んで、学んでくれました！

2014年10月16日(水) 主催：豊橋技術科学大学

<https://aichi-science.jp/1731>

第136回東三河サイエンスカフェ

「マウス(Mouse)－情報A-Z「M」の巻－」

ゲスト：河合和久氏(豊橋技術科学大学准教授)

会場：豊橋技術科学大学豊橋駅前サテライトオフィス



タブレットやスマートフォンの普及にともない、あまり見かけなくなってきたマウスについて考えてみました。そもそも、どうしてあのような機器が用いられるようになった

のでしょうか。また、あの中身、仕組みは、どうなっているのでしょうか。タブレットやスマホのタッチ・パネルと、マウスとではどちらが便利なのでしょうか。今回は、マウスについてサイエンスしてみました。

2014年10月17日(金) 主催：名古屋市立大学

<https://aichi-science.jp/1743>

第92回サイエンスカフェ in 名古屋「水が凍ると熱が出る? ~身近な物質、その結晶化の不思議」
 ゲスト：三浦均氏（名古屋市立大学大学院准教授）

会場：7th café（ナディアパーク7階）



「結晶化潜熱の発生」によって「結晶の形の多様性」が生まれる物理的な理由を実験や数値シミュレーション動画を使って紹介しまし

た。結晶化潜熱の発生によって結晶の形が大きく変わってしまう様子に、参加者の皆さんも驚かれた様子でした。会場の皆さんは大きくうなずきながら、そして活発に質問をしていました。今回のサイエンスカフェが、身近な結晶の形について思いを巡らせるきっかけになれば幸いです。

2014年10月17日(金) 主催：名古屋市東山動植物園

<http://aichi-science.jp/1770>

～子どもも大人も楽しめる～身近な草観察会

会場：名古屋市東山動植物園

ガイドボランティアが身近にある草などについてお話をしました。参加者の皆さまにはお話や観察を通じて楽しく学んでいただきました。



2014年10月18日(土)～19日(日)

主催：豊橋技術科学大学

<https://aichi-science.jp/1702>

Jr.サイエンス講座

会場：豊橋市視聴覚教育センター



第29回子どものための科学展（豊橋市教育委員会主催）が開催され、豊橋技術科学大学は「Jr.サイエンス講座」として出展しました。本学の3つ

のコーナーへは、両日で約500人が来場されました。子どものための科学展の入場者は、両日で5,276人でした。今年度は「光の実験」、「ロボットの操作体験」、「電子和算博物館」の3コーナーを出展しました。

2014年10月19日(日) 主催：豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1902>

学習教室「スズメバチの巣を解体してみよう」

ゲスト：長谷川道明氏（豊橋市自然史博物館学芸員）

会場：豊橋市自然史博物館



駆除したスズメバチの巣を解体して、巣の構造を調べました。

2014年10月24日(金) 主催：名古屋市鶴舞中央図書館

<https://aichi-science.jp/1810>

図書館サイエンス夜話 第一夜
 「情熱サイエンスー植物科学で食料増産に挑む」

ゲスト：芦荻基行氏

（名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授）

会場：名古屋市鶴舞中央図書館



お米の品種改良を研究する芦荻先生のエネルギッシュなお話をたくさんの方に聞いていただきました。お米の歴史から最新の品種改良まで、参

加したみなさんは熱心に聞いていらっしゃいました

2014年10月25日(土) 主催：蒲郡市生命の海洋館

<https://aichi-science.jp/1925>

<あいちサイエンスフェスティバル先端科学技術と社会> サテライトイベント in 蒲郡

中継元ゲスト：近藤孝男氏

（名古屋大学大学院理学研究科特任教授）

会場：蒲郡市生命の海科学館



名古屋市で行われた市民向け講演会「先端科学技術と社会」の中継上映を行いました。学芸員による簡単な解説もあり、アットホームな雰囲気

の会となりました。

2014年10月25日(土)～26日(日)

主催：名古屋市東山動植物園

<http://aichi-science.jp/1754>

ボタニカルトークー植物管理人の温室トークリレー

会場：名古屋市東山動植物園



植物園の職員が温室植物についてお話ししました。サボテンや食虫植物等その多様性を楽しく学んでいただきました。

2014年10月26日(日) 主催：豊橋市自然史博物館

<http://aichi-science.jp/1904>

名古屋大学出前授業 in 豊橋市自然史博物館

「植物プランクトンがクジラを進化させた？」

～小さな化石から探る地球変動と生物進化」

ゲスト：須藤 隆彦氏 (名古屋大学大学院京東生物学研究科准教授)

会場：豊橋市自然史博物館



名古屋大学が取り組む第一線研究について紹介する一般市民向けサイエンス・トークでした。

2014年10月30日(木) 主催：名古屋市鶴舞中央図書館

<https://aichi-science.jp/1808>

図書館サイエンス夜話 第二夜

「脳を知ることでさかなの行動を知る」

ゲスト：阿部秀樹氏

(名古屋大学大学院生命農学研究科准教授)

会場：名古屋市鶴舞中央図書館



小さな魚の脳に詰まった、たくさんの機能についてお話を聞きました。先生がお持ち下さった金魚の脳の標本に、みなさん興味津々でした。魚大好き(?)

の方にたくさんお集まりいただきました。

2014年11月2日(日)～3日(祝)

主催：名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1756>

オナモミダーツと木の実で標本づくり

会場：名古屋市東山動植物園



ガイドボランティアと一緒に、オナモミでダーツをしたり、標本をつくったりしました。素敵な作品がたくさんできました。

2014年11月2日(日) 主催：犬山市立図書館

<https://aichi-science.jp/1926>

～図書館まつり～講演会「彗星はどこからやってくるのか」

ゲスト：小林浩氏 (名古屋大学大学院理学研究科助教)

会場：犬山市立図書館



犬山市市制施行60周年を記念した図書館まつりの一企画に、名古屋大学理学研究科の小林浩助教を講師に招き、サイエンス・トーク

「彗星はどこからやってくるのか」を開催しました。小林助教は、分かりやすい言葉で説明しながら、子ども達からの多くの疑問質問にも丁寧に答えていました。また、彗星はほごりが合体して大きくなることに似ていることを、綿を使って参加者にも体験してもらい、参加者の理解はより一層深まった様でした。

2014年11月3日(祝) 主催：名古屋市東山動植物園

<https://aichi-science.jp/1943>

コアラ来園30周年記念動物講演会

「コアラのからだに進化のひみつを探る」

ゲスト：遠藤秀紀氏 (東京大学総合研究博物館助教)

会場：名古屋市東山動植物園

今年のコアラ来日30年の節目。コアラは、オーストラリアで独自の進化を遂げてきました。お腹の袋で子育てをする。ユーカリしか食べない。大半を眠って過ごすなど、その生活はとてもユニーク。そんなコアラに解剖学者がせまりました。



(ポスト企画)

2014年11月7日(金) 主催:名古屋鶴舞中央図書館
<http://aichi-science.jp/1809>

図書館サイエンス夜話第三夜「野生動物をとことん追跡! -先端技術で行動を記録するバイオロギング-」
 ゲスト: 依田憲氏 (名古屋大学大学院環境学系准教授)

会場: 名古屋市鶴舞中央図書館



動物にカメラやGPSを付けて記録するバイオロギングについてのお話を聞きました。海の中や空の上での動物たちの様子がハイテク機器で分かることに参加者の皆さん、驚いていらっしゃいました。実際にバイオロギングで記録された動画も見せていただきました。

(ポスト企画)

2014年11月9日(日) 主催:豊橋市自然史博物館
<https://aichi-science.jp/1906>

ジオツアー「津具の里に鉱山跡をたどる」
 ゲスト: 豊橋市自然史博物館学芸員
 会場: 設楽町ほか



武田信玄の隠し金山と言われた鉱山跡(信玄抗)などをめぐりました。

2-3-2. 長期イベント (開催期間3日間以上)

(プレ企画)

2014年6月28日(土)~9月15日(祝)
 主催:トヨタ産業技術記念館
<https://aichi-science.jp/1792>

豊田喜一郎生誕120周年特別展「喜一郎の夢」



「国産自動車事業を興す」という夢に向かって走り続けた男、豊田喜一郎とはどんな人物だったのか? 本人の言葉や創業期の仲間たちの語りを用いて、トヨタ自動車創業者である豊田喜一郎の人物像を浮き彫りにして紹介しました。

「国産自動車事業を興す」という夢に向かって走り続けた男、豊田喜一郎とはどんな人物だったのか? 本人の言葉や創業期の仲間たちの語りを用いて、トヨタ自動車創業者である豊田喜一郎の人物像を浮き彫りにして紹介しました。

2014年7月11日(金)~10月8日(水)

主催:愛知芸術文化センター愛知県図書館
<http://aichi-science.jp/1778>

企画展示「サイエンスがおもしろい」



「のぞいてみよう生命科学」「宇宙の不思議」「数学・物理にチャレンジ!」「生活のサイエンス」「科学読み物」の5つのテーマで1330冊の資料を展示し、貸出も行いました。8割近くが貸出され、繰り返し利用された資料もありました。

「のぞいてみよう生命科学」「宇宙の不思議」「数学・物理にチャレンジ!」「生活のサイエンス」「科学読み物」の5つのテーマで1330冊の資料を展示し、貸出も行いました。8割近くが貸出され、繰り返し利用された資料もありました。

2014年7月15日(火)~9月30日(火)

主催:愛知芸術文化センター愛知県図書館ほか県内公共図書館
<http://aichi-science.jp/1782>

@ライブラリー「おどろき・発見・サイエンス」



愛知県内の公共図書館でサイエンス関連のイベントを22件開催し、PRしました。サイエンスに関する本の展示、読み聞かせ、実験、講演会など、各館が工夫をこらしたイベントを実施しました。

2014年9月27日(土)~11月2日(日)の土日

主催:豊橋市自然史博物館
<https://aichi-science.jp/1892>

ボランティアガイドツアー



自然史博物館ボランティアによる常設展の解説ツアーです。実物標本にも触れながら、わかりやすく展示を解説しました。

2014年10月4日(土)～11月16日(日)の
土・日・祝

主催：名古屋市東山動植物園

アニマルトーク

各飼育員がその担当動物について来園者に向けてトークを行いました。飼育に携わっているキーパーから直接に話を聞ける機会のため、人気イベントのひとつになっています。



2014年10月11日(土)～11月3日(祝)

主催：豊橋市自然史博物館

<https://aichi-science.jp/1898>

第10回自然史博物館自由研究展



豊橋市内の小中学生が行った自由研究の優秀作品の表彰と展示を行いました。

2014年10月15日(水)～12月14日(日)

主催：トヨタ産業技術記念館

<http://aichi-science.jp/1794>

トヨタ産業技術記念館開館20周年特別展 「トヨタの進化 喜一郎の夢、その後」



当館を運営するトヨタグループ17社の持つ最新技術や特徴的技術、夢のある技術を展示し、喜一郎がかつて描いた夢が形を変えて進化・発展した様子を紹介しました。

2-4. 一般参加機関の主催企画

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関以外にも、フェスティバルに参加していただきました。（実際には、下記以外にもフェスティバル期間中に開催されたイベントがありましたが、ここではポケットガイドでの事前告知をおこなったイベントのみ、記載します。）

（プレ企画）

2014年9月6日（土） 主催：日本物理学会等
<https://aichi-science.jp/1727>

**日本物理学会市民科学講演会
 「私たちの生活をかえる物質科学」**

ゲスト：鯉沼秀臣氏（物質・材料研究機構名誉顧問）、
 細野秀雄氏（東京工業大学応用セラミックス研究所教授）

多くの方に参加いただき、参加者に物性物理学の成果を伝えることが出来ました。当初登壇予定だった先生のお一人が体調不良となり、講師が変更されました。

（共催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部、中部大学）

2014年10月18日（土） 主催：読売新聞中部支社
<https://aichi-science.jp/1850>

**ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「次世代への
 メッセージ」2014年秋・名古屋セッション
 「世界を見据える、科学で挑むー」**

ゲスト：下村脩氏（米ウッズホール海洋生物学研究所特別
 上級研究員）、益川敏英氏（京都産業大学教授）

読売新聞中部発刊 40 周年記念事業の一環である本講演会に、中高生や市民ら約 320 名が参加しました。益川氏は科学の発展の歴史に触れ「基礎研究が始まって実用化されるまで、100 年かかることもある」と研究の難しさを強調しました。下村氏は「難しいことをやり遂げたときの喜びは大きい。不可能に近いものにこそ取り組みたい」と研究の醍醐味を語りました。フォーラムでは今年の物理学賞受賞が決まった赤崎勇・名城大教授のメッセージが読み上げられ、共同受賞する天野浩・名古屋大学教授のビデオレターも上映されました。（参照：読売新聞中部版、2014 年 10 月 19 日朝刊）

3. おわりに

あいちサイエンスフェスティバル 2014 は、JST の助成が終了し、新たな体制での運営となりました。関係各所にご心配をおかけした面があったかと思いますが、皆様のおかげをもちまして、大きな混乱なく開催日を迎え、予定通り終了することができました。あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関の皆様、およびフェスティバルにご参加・ご協力いただいたすべての皆様に、感謝申し上げます。

来年度は、愛知県内でのフェスティバル認知度をさらに高め、より充実したあいちサイエンスフェスティバルを開催できるよう、準備したいと思います。あいちサイエンスフェスティバルの 4 年間の実績を糧にしつつも、従来の枠組みにとらわれず、自由な発想で、サイエンスを楽しむ場をデザインしていきましょう。

今後とも、皆様のご協力・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
あいちサイエンスフェスティバル事務局一同

あいちサイエンスフェスティバル 2014 実施報告書

発行年月： 2015年2月
発行責任者： 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 特任教授 虎澤研示
編集： 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーター 成久美

お問い合わせ先：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 地域連携・情報発信グループ
あいちサイエンスフェスティバル事務局

e-mail asf@aip.nagoya-u.ac.jp

URL <https://aichi-science.jp> (あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークHP)

<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp> (名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部HP)

TEL 052-747-6527 FAX 052-788-6002

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関

 名古屋大学	 愛知県	 国立大学法人 豊橋技術科学大学	 名古屋市立大学
 名古屋市科学館 NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM	 東山動植物園 Higashiyama ZOO & BOTANICAL GARDENS	 蒲都市生命の海科学館	 豊橋市自然史博物館
 日本モンキーセンター	 トヨタ産業技術記念館	 NAGOYA ZOKU UNIVERSITY OF ART & DESIGN 名古屋造形大学	 AXA 名古屋空港飛行研究拠点
 大学共同利用機関法人 基礎生物学研究所 NIBB	 AUT 愛知工科大学	 NAGOYA BUNRI UNIVERSITY 名古屋文理大学	 SMBC 三井住友銀行 SMBCパーク栄
 愛知こどもの国	 名古屋市動物中央飼育場 758	 MieMu 三重県総合博物館	 ogaki city cultural foundation 公益財団法人 大垣市文化事業団

(2015年2月現在)